

□■ 25 触ってイマジン ■□

～ 質問をして相手がイマジンするものを当てよう ～

親が想像（イマジン）しているものを、質問を繰り返してグループ全員で当てるゲームです。親は豊かな想像力でイマジンしましょう。その他の人は、どんな質問をすれば答えに近づけるのか、工夫してみましょう。視覚を使わずにできるゲームです。



おっさん

*対象…小学校高学年～
 *人数…3人以上
 *時間…15分～
 #課題解決#コミュニケーション#対話型#質問力#視覚を使わない

用意するもの

- 石や貝、枝や木の実などのアイテム（形や触感に特徴のあるもの）5～10個程度
- アイテムが入る巾着袋2つ（片方の巾着袋に全てのアイテムを入れておく）

進め方

- (1) 親を1人決めて、巾着袋の中に手を入れてアイテムを1つ選び、形や触感から連想してイマジンしたものを答えとします。答えが決まったら、そのアイテムをもう1つの巾着袋に移します。
- (2) 親以外の人は子となり、まずは全員で親が選んだアイテムを順番に触り、質問を考えます。
- (3) 親の左隣の人から順番に質問します。子がとれる行動は
 - A 質問！（「はい」か「いいえ」で答えられる質問をする。）
 - B チャレンジ！（親とじゃんけんをして、勝ったら好きな質問ができる）
 - C アンサー！（答えを当てる）
 の3つです。親が選んだアイテムはゲーム中いつでも触ることができます。
- (4) 質問が2周したら、子全員でなんでも1つ親に質問をすることができます。どんな質問が良いかみんなで話し合ひましょう。その後は、1周することに毎回質問することができます。これを答えが当たるまで続けます。

バリエーション

- 1周ごとに子が好きな質問をする代わりに、1周ごとに親がヒントを出してあげることでもできます。
- 質問を考えるのが難しい子どもがいた場合、パスを有りにしたり、他の仲間が代わりに質問することをOKにするという工夫も必要です。
- 事前にアイテムを集めるのが難しい場合は、親がまず答えとなるものをイメージして、その大まかな形を新聞紙や粘土で作って遊ぶこともできます。
- 親が答えの大まかなシルエットを紙に書いて遊ぶこともできますが、その場合は「見てイメージ」ですね。

ふりかえり

- みんなで質問を考えるときに、みんなの意見をまとめた人は？
- みんなで質問を考えるときに、意見をたくさん出した人は？
- いい質問をした人は？

注意事項

イメージする答えは、できる限り子全員が知っているものにしましょう。



親は何をイメージしたのかな？